

文化資源情報の研究機関間連携 の課題

2009.4.22

人間文化研究機構
国立歴史民俗博物館
安達文夫

本報告の背景

- 人間文化研究機構 研究資源共有化システムの公開 (2008.4.1) <http://www.nihu.jp/>

- 100を超えるDBの統合検索

国際日本文化研究センター

国立歴史民俗博物館

総合地球環境学研究所

国文学研究資料館

国立民族学博物館

- 研究分野をまたがる連携

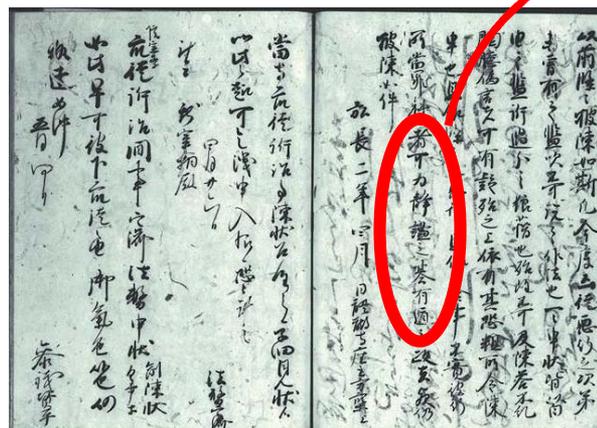
文化資源情報の種別

目録

内容

事柄

【文書名】	後嵯峨上皇(力)院宣案 (案文・原装)
【欠簡・断簡】	
【日付1】	五月四日
【日付2】	12629905004
【形式】	袋綴
【時代】	鎌倉時代後期
【法量縦】	
【法量横】	
【紙数】	
【差出】	参議資平 (日下)
【充所】	謹上 理性院法印御房 (奥上)
【端裏書】	--
【本文書出】	院宣案／衆徒許訟問 事
【本文書止】	仍執達如件
【備考】	『鎌倉遺文』未収録。
【所収文書群】	醍醐寺弘長寺解 両方
【区分】	田中本古文書



二日(壬戌)天晴、晚参小河殿処、御座御台御之間、参西御所自南都松林院東門跡二荷御進上之間、以春日局披露同二荷進上御台御方、以小侍從局申入者也□……□八朔事雖如形可進上之由□……□伊勢守於□……□令申之間、可進上之由返答者也。仍南都諸院家可進上候歟、否之由、少々被相尋問、内々伺申御台御方処、御返報以下可事行者、各可進上之由、可相触不可事行者、可有用捨之由、先日被仰合伊勢守之間、実否相尋伊勢守可申遣之由仰也。帰路罷向定親朝臣宿所。

【商人名】	越後屋喜左衛門
【やごう】	えちごや
【なまえ】	きざえもん
【居所】	室町二丁目
【きょしょかな】	むろまちにちょうめ
【現在地】	中央区
【本国】	-
【職種・所持株】	十組 糸物問屋
【出典】	『江戸買物独案内』
【備考1】(株の移動)	-
【備考2】	「現金無掛直」
【備考3】	-

文化資源情報の連携の課題

- 研究対象の多様性
- 研究の視点の多角性
- 情報の不確定性

MLA連携

- Museums
 - CIDOC CRM, ミュージアム資料情報構造化モデル
- Libraries
 - MARC, MODS
- Archives
 - EAD, ISAD(G)
- デジタル情報資源ラウンドテーブル設置(2009年)の計画

連携の可能性

- 研究対象の多様性を認識
- 研究分野、機関、研究者の各々の視点を尊重
- 研究の発展性を理解
- 緩やかな連携から出発
 - 名称／題名 + 時間, 場所, 人 + 主題／種別
 - + その他